

1

陽性者の隔離のため部屋を移動させた。もとの部屋は消毒したほうがいい？

➡ 使用予定がなければ、消毒する必要はありません！



72時間放置



- 72時間経過すると新型コロナウイルスは不活化します。
- 消毒作業によって職員が感染するリスクがあります。
- 消毒が不完全な場合、その部屋に陰性者を移動させることで新たに感染が広がる恐れがあるため、陽性者を移動させない方が安全な場合もあります。

➡ 使用予定がない場合は、72時間放置させてから通常通りの清掃・消毒を行いましょう。

2

感染エリアに行った後は、靴まで消毒すべき？

➡ 消毒不要！基本的に床は汚染されているものとする！



- シューズカバーを脱ぐときや、靴の消毒マットを交換するとき、かえって手指が汚染されるリスクがあります。また、靴の消毒マット自体が汚染源となる可能性があるため、使用する必要はありません。
- 床や靴を消毒することに労力を使うよりも、**こまめに手洗い・手指消毒**をしましょう。
- 床を触る機会がある入居者がいる場合は、その方が触る可能性のある床を拭き消毒しましょう。



3

空間や衣服へ消毒液のスプレーをした方がいい？

➡ スプレーする必要はありません！

- スプレーは、消毒液が「点」でつくだけで、「面」を消毒できないため、空間や衣服へ噴霧する必要はありません。
- 特に次亜塩素酸ナトリウムは、目や皮膚への付着や吸入してしまうと、健康被害のおそれがあり危険です。
- アルコールは引火性があるため、空間噴霧は絶対にやめてください。



- 頻繁に手で触れる箇所(ドアの取手やノブ、手すり、スイッチ、蛇口等)を1方向に拭き消毒しましょう。
- こまめに手洗い又は手指消毒を行いましょう。
 - ➡ 手や指についたウイルスの対策は、洗い流すことが最も重要です。
手や指に付着しているウイルスの数は、流水による15秒の手洗いだけで1/100に、石けんやハンドソープで10秒もみ洗いし、流水で15秒すすぐと1万分の1に減らせます。



4

消毒薬は何を使用したらいいの？

➡ 次亜塩素酸水は使用方法や保管条件に注意が必要です！

- 次亜塩素酸ナトリウムと次亜塩素酸水は異なる成分です。
- 次亜塩素酸水を消毒に使用した場合、消毒したいモノの汚れをあらかじめ落とし、有効塩素濃度80ppm以上(ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムを水に溶かした製品の場合は100ppm以上)の次亜塩素酸水を使い、消毒したいモノに対して十分な量で濡らしてください。濡らした後は、きれいな布やペーパーで拭き取りましょう。
- 紫外線に弱いため、遮光性のボトル等を使用し、冷暗所に保管しましょう。

*出典:厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について(厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ)」



- 使用方法や保管条件を考慮すると、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムによる消毒がおすすめです。
- 手指消毒用アルコールは手指保護剤が含まれているため、環境消毒に使用するとべたつくことがあります。手指消毒用と環境消毒用のアルコールは別のものにしましょう。

◎ アルコール・・・エタノールが76.9～81.4 vol%含まれている製品(※)を用いて拭き取る。

◎ 次亜塩素酸ナトリウム・・・次亜塩素酸ナトリウムの濃度が0.05%になるように薄めて拭き、その後、水拭き。

※出典:日本薬局方 消毒用エタノールの項